

# 学外臨床実習の一般目標と到達目標

## 1. 診療の基本

一般目標：患者情報を収集し、診断して治療計画を立てることを学ぶ。

到達目標：

- 1) 基本的診療知識にもとづき、情報を収集・分析できる。
- 2) 得られた情報をもとに、問題点を抽出できる。
- 3) 病歴と身体所見等の情報を統合して、鑑別診断ができる。
- 4) 診断治療計画を立てられる。
- 5) 礼儀正しく患者（家族）に接することができる。
- 6) プライバシーに配慮し、患者（家族）との信頼関係を形成できる。
- 7) 医療面接における基本的コミュニケーション技法を実践できる。
- 8) 病歴聴取（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、システムレビュー）を実施できる。
- 9) 診療録を記載できる。
- 10) 毎日の所見と治療方針を記載できる。
- 11) 受持ち患者の情報を診療チームに簡潔に説明できる。

## 2. 身体診察

一般目標：基本的な身体診察ができる。

到達目標：

- 1) 身長・体重を測定し、栄養状態を評価できる。
- 2) 血圧・脈拍を測定できる。
- 3) 呼吸数を測定し、呼吸パターンを観察できる。
- 4) 体温を測定できる。
- 5) 頭頸部の診察ができる。
- 6) 胸部の視診、打診、触診、聴診ができる。
- 7) 呼吸音を正しく聴診できる。
- 8) 心音と心雑音を正しく聴診できる。
- 9) 乳房を診察できる。
- 10) 腹部の視診、聴診、打診と触診ができる。
- 11) 反跳痛と筋性防御の有無を判断できる。
- 12) 直腸（前立腺を含む）指診ができる。
- 13) 意識状態が判定できる。
- 14) 脳神経を診察できる。
- 15) 腱反射、病的反射、筋トーンスを診察できる。
- 16) 小脳・運動機能を診察できる。
- 17) 感覚系の診察ができる。
- 18) 髄膜刺激所見がとれる。
- 19) 四肢と脊柱を診察できる。
- 20) 関節（関節可動域を含む）を診察できる。
- 21) 筋骨格系の診察ができる。

### 3. 基本的臨床手技

一般目標：基本的臨床手技を学ぶ。

到達目標：

- 1) 静脈採血の手順、部位と合併症を列挙し、正しく採血できる。
- 2) 末梢静脈の血管確保を見学し、介助ができる。
- 3) 胃管の挿入と抜去ができる。
- 4) 尿道カテーテルの挿入と抜去ができる。
- 5) ドレーンの挿入と抜去を見学し、介助ができる。
- 6) 注射の種類、各々の特徴と刺入部位を説明できる。
- 7) 手術や手技のための手洗いができる。
- 8) 手術室におけるガウンテクニックができる。
- 9) 基本的な縫合ができる。
- 10) 創の消毒やガーゼ交換ができる。
- 11) 12誘導心電図を適切に記録できる。
- 12) 尿検査（尿沈渣を含む）を施行し、観察できる。

### 4. 内科系臨床実習

一般目標：基本的内科疾患を受け持ち、病態、症候、診断、治療と予後を学ぶ。

到達目標：

- 1) 主要な疾患、症候や病態を診察し、診断と治療計画の立案・実施に参加できる。
- 2) 他科へのコンサルテーションが必要かどうか判断できる。
- 3) 複数の疾患をかかえる患者を診察し、診断と治療計画の立案・実施に参加できる。

### 5. 外科系臨床実習

一般目標：基本的外科疾患を受け持ち、病態と、治療としての外科処置を学ぶ。

到達目標：

- 1) 外科的処置の適応を判断し、リスク評価ができる。
- 2) 外科の基本的診療手技を実施できる。
- 3) 基本的な術前術後管理ができる。

### 6. 医療、福祉と介護の制度

一般目標：医療、福祉と介護の制度の内容を学ぶ。

到達目標：

- 1) 医療保険の仕組みを説明できる。
- 2) 介護保険の仕組みを説明できる。